

平成 20 年度多文化共生社会づくり推進事業報告書

1 事業の概要

(1) 事業名 **Crianças e Possibilidade** (クリアンサス エ ポシビリダージ) ーこどもたちと可能性ー

(2) 事業の目的・概要

外国籍の子どもたちに対し公立小学校にて夏休み期間中に宿題教室、平日に放課後教室、そして、保護者に対する進学説明会と、不就学、またはその危険性のある外国人児童生徒及びその家族への緊急支援活動を実施した。

(3) 受託団体の概要

外国人との共生を考える会は、平成 13 年より、地域に増加する外国籍住民と生活する上での様々な問題を解決しよう、また、問題を未然に防ぐために活動している。活動当初は、ゴミ問題、駐車場問題の解決に向けた取り組み、その後、お知らせの翻訳、地域の活動時における通訳の配置、防災への取り組みを積極的に行ってきた。

同時に、子どもたちの教育支援活動を平成 13 年より実施しており、地域の学校、町内会、行政、外国人教育関係者と連携し、地域に根ざした取り組みを積極的に行っている。

愛知県の委託事業として、平成 17 年度には建設部住宅管理課の外国人共生支援住宅団地モデル事業、平成 18 年度は地域振興部国際課の多文化共生社会づくり推進事業（外国籍県民交流推進事業）、平成 19 年度は地域振興部国際課の多文化共生社会づくり推進事業（アフタースクール事業）を実施してきた。

地域の町内会とも連携を強化しながら、町内会での翻訳事業への支援、町内会活動への通訳派遣、合同防災訓練、運動会やバーベキュー大会などの交流事業を協働して実施してきた。また、「セミナー in にしお」と題して、現状を把握するため、そして、課題を議論し、対策を打ち出すためのセミナーを平成 16 年より年に一度実施している。

2 事業の実施状況（実施期間、実施場所、実施体制、参加者（対象者）、準備作業、事業の具体的内容等）

(1) 夏休み教室

実施期間、場所：12 回（7/22,23,24,25,28,29,30,31、8/1,2、9/6,27）

1 日に西尾市内の米津小学校で 1 時間、鶴城小学校で 2 時間、西野町小学校で 2 時間実施。学校行事の都合により、8/2、9/6,27 で振替え教室を実施。）

実施体制：実施校の取り出し教室担当教員、外国籍児童の担任、西尾市教育委員会ブラジル人教育関係者、日本語教育関係者、大学関係者、大学生、専門学生など、延べスタッフ 200 人で対応した。

参加者数：延べ参加者数 316 人。

準備作業：各学校、児童クラブ、西尾市子ども課、西尾市教育委員会、スタッフ間の打ち合わせを事前に 3 回実施した。また、毎日、昼の 30 分間をスタッフ間の打ち合わせとした。

事業内容：米津小学校、鶴城小学校、西野町小学校の和室や空き教室を利用して、希望する外国籍児童を対象に夏休みの 9 日間、振り替えの 3 日間、夏休みの宿題を支援する活動を実施した。毎回 1 年生から 6 年生、時々中学生たちが夏休みの日誌や工作、作文などを持ち込んで学習した。最終日には終了式として、修了証書を学校長や教頭先生に渡してもら

った。

(2) 平日教室

実施期間、場所：23 回（9/18,25、10/2,4,9,16,23,30、11/6,13,20,27、12/4,11,18、1/8,15,22,29、2/5,12,19,21）
毎週木曜日、14:00-16:00 の 2 時間、西野町小学校のランチルームにて実施。学校行事と、スタッフの都合により、10/4、2/21 に振り替え教室を実施。

実施体制：実施校の取り出し教室担当教員、外国籍児童の担任、西尾市教育委員会ブラジル人教育関係者、日本語教育関係者、大学関係者、大学生など、7 人を中心に、延べスタッフ 112 人で対応した。

参加者：延べ参加者数 243 人。

準備作業：西野町小学校、スタッフ間の打ち合わせを事前に 2 回実施した。

事業内容：西野町小学校のランチルームを利用して、希望する外国籍児童の主に 2 年生と 3 年生を対象に、毎週木曜日の授業後、宿題の支援活動を実施した。宿題の後は、カルタや九九ゲーム、切り絵、折り紙などで遊んだ。

(3) 外国籍のこどもたちのための進学説明会

実施期間、場所：2009 年 1 月 25 日 13:30-16:30 鶴城ふれあいセンターにて実施。

実施体制：パネラーとして、西尾市立鶴城中学校の外国籍生徒の進路指導担当教員 1 名、高校生や短大生をもつ外国籍保護者 3 名、現役外国人大学生 1 名。
通訳 3 名、日本人スタッフ 4 名で実施した。

参加者：外国籍の保護者や中学生、高校生、西尾市通訳、日本人など合計 20 名。

準備作業：鶴城中学校進路指導担当教員、西尾市進路指導担当教員、通訳、教育委員会、スタッフ間の打ち合わせを事前に 16 回実施した。

事業内容：外国籍の子どもをもつ保護者を対象に、日本での進学に関して、学力や費用だけでなく、日本人保護者が当たり前に知っていると思われる点など、進路に関してより具体的な情報を提供した。その際に、実際に、子どもを高校や短大に進学させた外国籍保護者と、現時点で大学生として活躍している外国籍大学生に体験談をかたってもらった。同時に、主な進学先である高校の情報等を進路指導担当教員に説明してもらった。

(4) 不就学外国人児童生徒及びその家族への緊急支援

実施期間、場所：15 回（2009/1/13,20,27,28、2/3,7,8,9,10,16,24）（同日内の複数回の打ち合わせや面談を含む）

実施体制：通訳 3 名、聞き取り調査員 1 名、小学校取り出し教室担当教員 2 名、鶴城中学校 PTA 会長 1 名、西尾市子ども課職員 2 名で対応した。

参加者：不就学外国人児童生徒 3 名及びその家族、中学進学予定の経済的困窮家庭 10 家庭。

準備作業：通訳、小学校教員、市役所子ども課職員、鶴城中学校 PTA 会長、スタッフ間の打ち合わせと、実際の外国籍児童とその保護者に対する面談あわせて 15 回実施した。

事業内容：学びの場を失くしている子どもたちとその保護者に対して、教育の機会の提供に向けた面接等を行い、生活の見直し、教育の大切さ、現時点での教育を受ける機会に関する情報提供を行った。

また、現在学校に通ってはいるが、学費未納の問題で学校に通うことが困難になっている子どもが生じ始めた状況をふまえて、学校と教育委員会に対し学費未納に関する緊急対応を呼びかけた。具体的には、実態把握のための聞き取り調査を実施し、調査結果の報告と今後の対応策について教育長と面談した。

さらに、実質的な支援として、中学校進学に伴う経済的負担を少しでも軽減するために、制服リサイクルを実施した。制服のリサイクルに向けて、鶴城中学校 PTA に生徒への呼びかけ、回収を実施してもらい、「外国人との共生を考える会」が小学 6 年生の家庭へ呼びかけ、連絡を行った。

3 事業の実施による効果

(1) 夏休み教室

夏休み教室への参加を通して、夏休みの宿題を終わらせる子どもがたくさんだけでなく、保護者から宿題に関する質問がいくつか挙げられ、困ったことに関して適切なアドバイスをすることができた。中でも、相談の多かった日記や感想文について、教室開催の初期から 1 対 1 で積極的に取り組むことができたと思われる。外国籍のこどもにとって、「文を書く」ことは困難であり、「何を書いたらいいか」、だけでなく、「どう書いたらいいか」、という基本的なことからスタッフと一緒に子どもが体験することができた。

他にも保護者からの質問が多かったのが、工作の宿題についてであった。工作の宿題に関する翻訳されたお知らせを読んでも、何をどうやったらよいか全くわからない保護者が、夏休み教室での工作の取り組みを強く希望したため、工作にも取り組んだ。その際に、何を準備すればよいかなど、保護者にも説明をすることによって、来年からは保護者と子どもだけで取り組むことができると期待できる。

スタッフに関しては、西尾市内で外国籍児童の教育に日常から携わっているブラジル人教育アドバイザーやブラジル人教育補助者が夏休み教室のスタッフとして活動することによって、普段の子どもたちの様子や学習レベルなど把握されていたため、スムーズに教室を開催することができた。夏休み前に気になっていた学習面での補習的な指導をすることができただけでなく、普段の学校生活では見えなかった子どもたちの様子を、夏休み教室を通して新しく知ることができ、夏休み以降の教育支援活動にも良い効果を与えたと思われる。

同時に、実施期間中に、ブラジル人の教育関係者同士で、情報交換や困っていることなどを相談することもでき、ネットワーク強化だけでなく、今後の活動をより効果的に行うノウハウを学びあうことができたと思われる。

(2) 平日教室

毎週の教室実施のため、授業で理解が難しいところなど、適時学習支援ができたと思われる。また、参加者の担任の教員から、「今日はここの漢字を学習したので、復習をお願いします。」、「今は九九の 3 の段をやっているので、復習をお願いします。」というように、その時の子どもたちに必要な学習を支援することができた。特に、九九と漢字に関しては、繰り返し学習することによって、定着することができたと思われる。

また、日本生まれ、日本育ちではあるが、学校で使われる日本語以外の日本語に触れる機会の少ない参加者にとって、スタッフとの会話を通して「学校の先生以外の大人の日本人が話す日本語」に触れることができ、有益であったと思われる。

スタッフには、日頃外国籍のこどもの取り出し授業に携わっているブラジル人教育関係者がいたが、他の日本人のスタッフと一緒に教科の学習支援をするにあたり、自分以外の人がどのように教えているのかを知る機会にもなった。さらに、指導上の悩みなどを相談する場にもなったことから、通常の仕事をより効果的に行うことができるようになったと思われる。

(3) 外国籍のこどもたちのための進学説明会

従来の一般的な進学に関する情報提供ではなく、西尾市内の外国籍の子どもの進学に焦点を絞り、

公立高校と私立高校の違いや、彼/彼女らが進学する可能性の高い学校に関する詳細な情報提供によって、参加者が具体的な、そして現実的な進学に関する将来像を描けたと思われる。

さらに、子どもを進学させた経験をもつ外国籍保護者がパネラーとして参加したことによって、実際に経験した内容を参加者に伝えることができ、当事者同士の話し合いができたと思われる。また、説明会後の交流会では、くつろいだ雰囲気の中、個人的な質問などを行うことができたと思われる。

説明会で配布した資料は、今後、教育委員会や進路指導担当教員を通じて、利用価値の高いものになったと思われる。

(4) 不就学外国人児童生徒及びその家族への緊急支援

西尾市教育委員会との連携で、不就学の子どもの実態が少しではあるが明らかにされた点が大きな成果と言える。夏休み教室や平日教室では、学校に通っている子どもたちが対象で、彼/彼女らの学習面や生活面での問題点などに対応することはできていた。しかし、不就学の子どもに対しては全く対応していなかった。急激な経済の悪化に伴う親の失業などによって、教育の機会を奪われた子どもの数が急増したことから、そうした子どもに対して、今まで明らかにされていなかった実態を、聞き取り調査や面談等によって、一部ではあるが明らかにすることができた。

また、その過程において教育委員会との連携をさらに強化することができた。特に、市役所で勤務する通訳との連携が促進された。同事業では、行政が情報収集と対象者との面談のセッティング、「外国人との共生を考える会」が実際の面談、というように役割を分担して活動したことによって、効果的に事業を実施することができた。

増加する学費未納に関しては、各学校が個別の対応をしており、そのしわ寄せが子どもに来ていた。それに対して、緊急に教育委員会と連携して対応することができ、子どもたちが安心して学校に通えるようになったという点で大きな効果があったと言える。

4 事業の実施に要した経費

別紙参照

5. 事業の継続・発展の見通し、今後の課題等

今後、アフタースクール事業を継続して実施していくことができるかどうか大きな課題である。まず、その理由としてスタッフの確保が挙げられる。定期的に優秀な人材を確保するには、安定した雇用条件が必要である。定期的な人材を確保するためには、民間のボランティア団体として予算の確保が大きな壁である。そのため、行政と連携し、行政の事業として実施することが求められている。

これまでも行政による事業化に向けて積極的に働きかけてきたが、今回の委託事業全体を通して行政との連携部署が拡大・強化されたため、何とか行政による事業化にむけて、さらに働きかけていきたい。具体的には西尾市では平成 21 年度から日本語の話せない子どもに対して、集中して日本語の指導を行う教室が開催の準備をしている。こうした教室開催にむけての過程に、アフタースクール事業が刺激になっていることは言えるだろう。

各事業の具体的な課題として、まず夏休み教室と平日教室の対象者の拡大である。夏休み教室は、一つの学校で学校の事業と連携して実施したため、いくつかの制約が生じた。小学生の参加者に加えて姉や兄の参加があったが、学校から在籍児童以外の参加を見合わせて欲しいと言われた。この点については、事前に学校側との話し合いで了承を得るように努める必要がある。

同様に、対象者の拡大という視点から、西尾市内の限られた学校でのみ二つの教室を実施したことから、実施学校数の増加、または、実施場所を再度検討する必要がある。一番懸念されるのは、

行き帰りの安全面であることから、なるべく子どもたちが徒歩で通える、または、学校内で実施することが求められている。しかし、そうすると、限られた学校のみでの開催になってしまうという課題が残る。また、各学校での実施を考えると、さらなるスタッフの確保と予算の確保が大きな課題である。

進学説明会は、開催時期として、12月または、7月の開催が望ましい。受験に向けての準備がスタートする7月は、受験までの時間を有意義に過ごすために、進路の決め方、勉強の方法など、受験準備を円滑にスタートさせることが可能と思われる。また、12月の開催は、具体的に進路を決めるにあたり、多くの情報を必要とする時期のため、この時期の開催も有益だと思われる。よって、今後は早い時期での進学説明会の実施が重要である。

不就学または、その危険のある子どもとその家族への緊急支援は、委託事業期間が終了する直前に事業内容を変更した。急激な景気の悪化を受けて、子どもたちの教育環境は急に悪化しており、それに対する緊急の対応が求められていた。そのため、従来の就学説明会ではなく、学校に行っていない子ども、行けなくなりそうな子ども、中学進学に際しての準備が経済的理由で困難である家庭に対して、緊急に取り組んだ。不就学という今まで足を踏み入れていない問題に取り組むことは大変困難であった。まず、教育支援ではあるが、それ以前に生活や親子の問題、住む所の問題など、直接的な教育支援をするまでに様々な問題が生じていた。それらを解決するには、行政に関する知識が必要であったため、行政との連携が大変重要であった。不就学に関する取り組みは、行政との連携なしでは効果的に実施できないと思われる。

最後に、中学進学を控えた子どもとその保護者にとっては、制服の購入など切迫した問題が生じていた。失業した親の数は想像以上に多く、制服のリサイクルはとても必要とされていた。急な呼びかけにも関わらずスムーズに進むことができたのは、中学校のPTA会長の理解と協力によるものと思われる。今回のように、毎回、外国籍の子どもに対する活動を積極的に支援してもらえらるとは限らないため、今後、地域住人の理解をさらに得る活動が必要であると思われる。

6. その他参考事項

夏休み教室参加者数・スタッフ数

日付	鶴城小学校参加者数	スタッフ数	西野町小学校他参加者数	スタッフ数	米津小学校参加者数	スタッフ数	備考
2008/7/22	14	9	9	8	7	8	(西)プール出校日
2008/7/23	15	8	17	7	6	8	(西)プール出校日
2008/7/24	15	5	14	8	9	6	
2008/7/25	15	10	14	9	休み		(西)プール開放日 (米)1年生出校日
2008/7/28	15	10	9	9	7	5	(西)プール開放日
2008/7/29	20	11	14	9	5	7	
2008/7/30	11	8	16	8	休み		(西)プール出校日 (米)1年生出校日

2008/7/31	16	11	14	8	7	9	(西)プール出校日
2008/8/1	17	7	14	7	休み		(米)1年生出校日
2008/8/2					4	3	振り替え 13:00-16:00
2008/9/6					6	1	振り替え 13:00-14:30
2008/9/27					6	1	振り替え 13:00-15:30
合計	138	79	121	73	57	48	
活動時間数 (延べ)		49					
参加者数 (延べ)		316					
スタッフ数 (延べ)		200					

実施時間 米津 9:00-10:00 鶴城 10:30-12:30 西野町 13:30-15:30

平日教室参加者数・スタッフ数

日付	参加者数	スタッフ数	備考
2008/9/18	10	7	
2008/9/25	13	5	
2008/10/2	12	4	
2008/10/9	13	5	
2008/10/16	14	6	
2008/10/23	13	5	
2008/10/30	11	5	
2008/11/6	13	5	
2008/11/13	14	5	
2008/11/20	14	5	
2008/11/27	11	6	
2008/12/4	9	4	
2008/12/11	12	6	
2008/12/18	12	6	
2009/1/8	13	6	
2009/1/15	8	4	

2009/1/22	11	5	
2009/1/29	12	6	
2009/2/5	5	5	
2009/2/12	10	5	
2009/2/19	4	5	
2008/10/4	5	1	振り替え
2009/2/21	4	1	振り替え
延べ人数	243	112	
活動時間数(延べ)			46

実施時間

14:00-16:00

学習ボランティア大募集（けやきわくわく宿題教室）

外国人との共生を考える会
川部國弘

初夏の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃から共生の会の活動におよせいただいておりますご理解とご協力に、厚くお礼申し上げます。

さて、平成 20 年度は、19 年度に引き続き、愛知県地域振興部国際課多文化共生推進室「多文化共生社会づくり推進事業」の委託を受け、外国籍の子どもを対象にした学習支援活動を夏休みに実施します。様々な経験をお持ちの皆様のご協力をいただき、夏休みの時間を通して、子どもたちが少しでも日本語の理解を深め、学習に意欲を持って取り組めるようになるきっかけの一つとなることを願っています。ポルトガル語を話せなくても大丈夫です。大変お忙しいとは思いますが、一日でもかまいませんので、子どもたちの様子を見に来ていただき、学習の指導にご協力いただけますようお願い申し上げます。

《おもな活動内容》

- ・ ひらがなやかたかなのよみ、かきの指導
- ・ 漢字学習の指導
- ・ かんたんな計算の指導
- ・ 夏休みの日誌などの指導
- ・ 夏休みの工作などの指導

《活動時間》

- ・ 夏休みの数日間の午前
(7 月 22, 23, 24, 25, 28, 29, 30, 31 日、8 月 1 日の 9 日間) の 10:30-12:30 の 2 時間

《おもな活動場所》

- ・ 鶴城小学校

《お問い合わせ先》

- ・ 浅田秀子 090-xxxx-xxxx (浅田の携帯まで直接お電話ください。)

《その他》

- ・ 参加可能な方は、浅田の携帯まで直接お電話ください。
- ・ ご都合のつく日が 1 日でもかまいません。ぜひご連絡ください。

学習ボランティア大募集（夏休み教室）

外国人との共生を考える会
川部國弘

初夏の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃から共生の会の活動におよせいただいておりますご理解とご協力に、厚くお礼申し上げます。

さて、平成 20 年度は、19 年度に引き続き、愛知県地域振興部国際課多文化共生推進室「多文化共生社会づくり推進事業」の委託を受け、外国籍の子どもを対象にした学習支援活動を夏休みに実施します。様々な経験をお持ちの皆様のご協力をいただき、夏休みの時間を通して、子どもたちが少しでも日本語の理解を深め、学習に意欲を持って取り組めるようになるきっかけの一つとなることを願っています。ポルトガル語を話せなくても大丈夫です。大変お忙しいとは思いますが、一日でもかまいませんので、子どもたちの様子を見に来ていただき、学習の指導にご協力いただけますようお願い申し上げます。

《おもな活動内容》

- ・ ひらがなやかたかなのよみ、かきの指導
- ・ 漢字学習の指導
- ・ かんたんな計算の指導
- ・ 夏休みの日誌などの指導
- ・ 夏休みの工作などの指導

《活動時間》

- ・ 夏休みの数日間の午後
(7 月 22, 23, 24, 25, 28, 29, 30, 31 日、8 月 1 日の 9 日間) の 13:30-15:30 の 2 時間

《おもな活動場所》

- ・ 西野町小学校

《お問い合わせ先》

- ・ 浅田秀子 090-xxxx-xxxx (浅田の携帯まで直接お電話ください。)

《その他》

- ・ 参加可能な方は、浅田の携帯まで直接お電話ください。
- ・ ご都合のつく日が 1 日でもかまいません。ぜひご連絡ください。

学習ボランティア大募集（夏休み教室）

外国人との共生を考える会
川部國弘

初夏の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃から共生の会の活動におよせいただいておりますご理解とご協力に、厚くお礼申し上げます。

さて、平成 20 年度は、19 年度に引き続き、愛知県地域振興部国際課多文化共生推進室「多文化共生社会づくり推進事業」の委託を受け、外国籍の子どもを対象にした学習支援活動を夏休みに実施します。様々な経験をお持ちの皆様のご協力をいただき、夏休みの時間を通して、子どもたちが少しでも日本語の理解を深め、学習に意欲を持って取り組めるようになるきっかけの一つとなることを願っています。ポルトガル語を話せなくても大丈夫です。大変お忙しいとは思いますが、一日でもかまいませんので、子どもたちの様子を見に来ていただき、学習の指導にご協力いただけますようお願い申し上げます。

《おもな活動内容》

- ・ ひらがなやかたかなのよみ、かきの指導
- ・ 漢字学習の指導
- ・ かんたんな計算の指導
- ・ 夏休みの日誌などの指導
- ・ 夏休みの工作などの指導

《活動時間》

- ・ 夏休みの数日間の午前
(7 月 22, 23, 24, 25, 28, 29, 30, 31 日、8 月 1 日の 9 日間) の 9:00-10:00 の 1 時間

《おもな活動場所》

- ・ 米津小学校

《お問い合わせ先》

- ・ 浅田秀子 090-xxxx-xxxx (浅田の携帯まで直接お電話ください。)

《その他》

- ・ 参加可能な方は、浅田の携帯まで直接お電話ください。
- ・ ご都合のつく日が 1 日でもかまいません。ぜひご連絡ください。



COMUNICADO SOBRE CURSO NAS FÉRIAS DE VERÃO



なつやすみきょうしつのお知らせ

Para quem quer terminar as tarefas das férias de verão e os trabalhos de artes(nisshi e kousaku) mais cedo, para quem quer estudar hiragana, katakana, kanji e contas. Vai ter professores(as) que irão ensinar o que não sabem.

なつやすみのしゅくだい (にっしやこうさくなど) をはやくおわらせたいひと、ひらがな、かたかな、かんじやさんすうのべんきょうをしたいひと、いっしょにべんきょうしませんか？
わからないところはおしえてくれるせんせいがいます。

ばしょ つるしろしょうがっこう

Local: TSURUSHIRO SHOUGAKKOU

場所：鶴城小学校

Data: Do dia 22 de Julho ao dia 25 e do dia 28 de julho ao dia 1 de agosto

Das 10:30hs. às 12:30hs.

にちじ

日時：7月22日～25日と7月28日～8月1日 午前10:30から12:30ごろ

Material necessario: Tarefa das ferias de verão(nisshi), material p/fazer trabalho de artes.

もちもの：なつやすみのにっし、しゅくだい、こうさくのざいりょう

Maiores informações: Asada Hideko 090-xxxx-xxxx (japones)

れんらくさき：あさだひでこ 090-xxxx-xxxx (にほん語)

Shiotani Akemi 090-zzzz-zzzz (português)

しおたにあけみ 090-zzzz-zzzz (ポルトガル語)

Parte das atividades do ano de 2008 para criação de uma sociedade multi cultural na provincia de Aichi

H20 年度愛知県多文化共生社会づくり推進委託事業

Apoio: Seção internacional da Provincia de Aichi da ação para integração e criação de uma sociedade

主催：愛知県地域振興部国際課多文化共生推進室

Planejamento e organização: Associação para integração dos estrangeiros multiculturais de Nishio

企画・運営：外国人との共生を考える会

As crianças que desejarem participar do curso das férias de verão, preencher abaixo e entregar para a professora Nakauchi Etsuko da classe de língua japonesa(nihongo

kyoushitsu).

なつやすみきょうしつさんかきぼうの人は、下の表 ^{ひと} ^{した} ^{ひょう} にかいてにほんごきょうしつのなかうちえっこせんせいにていしゅつしてください。

Nome da criança que irá participar do curso: _____

なつやすみきょうしつ ^{こども} ^{なまえ}
夏休み教室 にさんかされる子どもの名前

Quem tem irmãos(ãs), escrever o nome da criança que irá participar do curso.

きょうだいがいるばあいは、さんかされるこどもの名前をかいてください。

Nome da criança que vai participar: _

さんかすることのお名前 série 年 classe 組
 série 年 classe 組
 série 年 classe 組

Favor orientar as crianças para irem embora diretamente para casa passando pelo caminho determinado pela escola(tsûgakurô).

行きと帰りは通学路を通り、まっすぐ帰るように子どもさんに指導してください。

Durante as atividades, pode ser que haja reportagem de televisão. Neste caso, o rosto da criança pode aparecer? PODE APARECER () NÃO PODE APARECER()

かつどうちゅう ^{てれ} ^{びじゅざい} ^{はいる} ^{ばあい}
活動中、テレビ取材が入る場合があります。その際、顔がうつってもよいですか?
うつってもよい () うつりたくない ()

Tomando cuidado com os pontos acima mencionados, desejo participar das atividades.

^{いじょう} ^{てん} ^{かつどう} ^{さんか} ^{きぼう}
以上の点にきをつけて、活動への参加を希望します。

Nome do responsável: _____

ほごしのかたのお名前

Nº telefone Celular: _____

でんわばんごう けいたい Residência: _____

^{じたく}
自宅 Empreiteira: _____

^{はけんがいしゃ} ^{たんとうしゃ}
派遣会社の担当者 Nome do tantousha: _____

Marcar com um círculo nos dias que poderá participar ^ひさんかできる日に○をうつてください。

Se não puder participar por causa da piscina, etc., favor avisar antes.

プールの日など、さんかできないときは、はやめにしらせてください。

7/22	7/23	7/24	7/25	
7/28	7/29	7/30	7/31	8/1



COMUNICADO SOBRE CURSO NAS FÉRIAS DE VERÃO



なつやすみきょうしつのお知らせ

Para quem quer terminar as tarefas das férias de verão e os trabalhos de artes(nisshi e kousaku) mais cedo, para quem quer estudar hiragana, katakana, kanji e contas. Vai ter professores(as) que irão ensinar o que não sabem.

As crianças que estão indo ao clubinho(jidou kurabu) também poderão participar!!

なつやすみのしゅくだい (にっしやこうさくなど) をはやくおわらせたいひと、ひらがな、かたかな、かんじやさんすうのべんきょうをしたいひと、いっしょにべんきょうしませんか？
わからないところはおしえてくれるせんせいがいます。
じどうくらぶにいているこもさんかできるよ！

Local: NISHINOMACHI SHOUGAKKOU ばしょ にしのまちしょうがっこう
場所：西野町小学校

Data: Do dia 22 de Julho ao dia 25 e do dia 28 de julho ao dia 1 de agosto

Das 13:30hs. às 15:30hs. 午後 13 : 30 から 15 : 30 ころ

にちじ

日時：7月22日～25日と7月28日～8月1日 午前 13 : 30 から 15 : 30 ごろ

Material necessario: Tarefa das ferias de verão(nisshi), material p/fazer trabalho de artes.

もちもの：なつやすみのにっし、しゅくだい、こうさくのざいりょう

Maiores informações: Asada Hideko 090-xxxx-xxxx (japones)

れんらくさき： あさだひでこ 090-xxxx-xxxx (にほん語)

Shiotani Akemi 090-zzzz-zzzz (português)

しおたにあけみ 090-zzzz-zzzz (ポルトガル語)

Parte das atividades do ano de 2008 para criação de uma sociedade multi cultural na provincia de Aichi
H20 年度愛知県多文化共生社会づくり推進委託事業

Apoio: Seção internacional da Provincia de Aichi da ação para integração e criação de uma sociedade
主催：愛知県地域振興部国際課多文化共生推進室

Planejamento e organização: Associação para integração dos estrangeiros multiculturais de Nishio
企画・運営：外国人との共生を考える会

As crianças que desejarem participar do curso das férias de verão, preencher abaixo e entregar para a professora Komatsu Noriko da classe de língua japonesa(nihongo kyoushitsu).

なつやすみきょうしつさんかきぼうの人は、下の表 ^{ひと} ^{した} ^{ひょう} にかいてにほんごきょうしつのこまつのりこせんせいにていし
ゆつしてください。

Nome da criança que irá participar do curso: _____

なつやすみきょうしつ ^{こども} ^{なまえ}
夏休み教室にさんかされる子どもの名前

Quem tem irmãos(ãs), escrever o nome da criança que irá participar do curso.

きょうだいがいるばあいは、さんかされるこどもの名前をかいてください。

Nome da criança que vai participar: _____

さんかするこどものお名前 série 年 classe 組
 série 年 classe 組
 série 年 classe 組

Favor orientar as crianças para irem embora diretamente para casa passando pelo
caminho determinado pela escola(tsûgakurô).

^い ^き ^{かえり} ^{つうがくろ} ^{とお} ^り ^{かえ} ^る ^{こども} ^{さん} ^{しどう}
行きと帰りは通学路を通り、まっすぐ帰るように子どもさんに指導してください。

Durante as atividades, pode ser que haja reportagem de televisão. Neste caso, o rosto da
criança pode aparecer? PODE APARECER () NÃO PODE APARECER()

^{かつどうちゅう} ^て ^れ ^{びじゅざい} ^{はいる} ^{ばあい}
活動中、テレビ取材が入る場合があります。その際、^{さい} ^{かお}
顔がうつってもよいですか。

うつってもよい () うつりたくない ()

Tomando cuidado com os pontos acima mencionados, desejo participar das
atividades.

^{いじょう} ^{てん}
以上の点にきをつけて、^{かつどう} ^{さんか} ^{きぼう}
活動への参加を希望します。

Nome do responsável: _____

ほごしゃのかたのお名前

Nº telefone Celular: _____

でんわばんごう けいたい

Residência: _____

^{じたく}
自宅

Nome do tantousha: _____

^{はけんがいしゃ} ^{たんとうしゃ}
派遣会社の担当者

Marcar com um círculo nos dias que poderá participar ^ひ
さんかできる日に○をうつてください。

Se não puder participar por causa da piscina, etc., favor avisar antes.

プールの日など、さんかできないときは、はやめにしらせてください。

7/22	7/23	7/24	7/25	
7/28	7/29	7/30	7/31	8/1



COMUNICADO SOBRE CURSO NAS FÉRIAS DE VERÃO



なつやすみきょうしつのお知らせ

Para quem quer terminar as tarefas das férias de verão e os trabalhos de artes(nisshi e kousaku) mais cedo, para quem quer estudar hiragana, katakana, kanji e contas. Vai ter professores(as) que irão ensinar o que não sabem.

なつやすみのしゅくだい (にっしやこうさくなど) をはやくおわらせたいひと、ひらがな、かたかな、かんじやさんすうのべんきょうをしたいひと、いっしょにべんきょうしませんか？
わからないところはおしえてくれるせんせいがいます。

Local: YONEZU SHOUGAKKOU ばしよ しょうがっこう
場所 : 米津 ^{よねづ} 小 学 校

Data: Do dia 22 de Julho ao dia 25 e do dia 28 de julho ao dia 1 de agosto
Das 10:30hs. às 12:30hs.

にちじ

日時 : 7月 22 日～25 日と 7月 28 日～8月 1 日 午前 9 : 00 から 10 : 00 ごろ

Material necessario: Tarefa das ferias de verão(nisshi), material p/fazer trabalho de artes.

もちもの : なつやすみのにっし、しゅくだい、こうさくのざいりょう

Maiores informações: Asada Hideko 090-xxxx-xxxx (japones)

れんらくさき : あさだひでこ 090-xxxx-xxxx (にほん語)

Shiotani Akemi 090-zzzz-zzzz (português)

しおたにあけみ 090-zzzz-zzzz (ポルトガル語)

Parte das atividades do ano de 2008 para criação de uma sociedade multi cultural na provincia de Aichi

H20 年度愛知県多文化共生社会づくり推進委託事業

Apoio: Seção internacional da Provincia de Aichi da ação para integração e criação de uma sociedade

主催 : 愛知県地域振興部国際課多文化共生推進室

Planejamento e organização: Associação para integração dos estrangeiros multiculturais de Nishio

企画・運営 : 外国人との共生を考える会

As crianças que desejarem participar do curso das férias de verão, preencher abaixo e entregar para a professora Ichikawa da classe de língua japonesa(nihongo kyoushitsu).

なつやすみきょうしつさんかきぼうの人は、^{ひと}下の表 ^{した}にかいて ^{ひょう}にほんごきょうしつのいちかわせんせいにていしゅつしてください。

Nome da criança que irá participar do curso: _____

なつやすみきょうしつ こども なまえ
夏休み教室にさんかされる子どもの名前

Quem tem irmãos(ãs), escrever o nome da criança que irá participar do curso.

きょうだいがいるばあいは、さんかされるこどもの名前をかいてください。

Nome da criança que vai participar: _____

さんかするこどものお名前 série 年 classe 組

série 年 classe 組

série 年 classe 組

Favor orientar as crianças para irem embora diretamente para casa passando pelo caminho determinado pela escola(tsûgakurô).

いき かえり つうがくろ とおり
行きと帰りは通学路を通り、まっすぐ帰るように子どもさんに指導してください。

Durante as atividades, pode ser que haja reportagem de televisão. Neste caso, o rosto da criança pode aparecer? PODE APARECER () NÃO PODE APARECER()

かつどうちゅう てれびしゅざい はいるばあい さい かお
活動中、テレビ取材が入る場合があります。その際、顔がうつってもよいですか?

うつってもよい () うつりたくない ()

Tomando cuidado com os pontos acima mencionados, desejo participar das atividades.

いじょう てん かつどう さんか きぼう
以上の点にきをつけて、活動への参加を希望します。

Nome do responsável: _____

ほごしゃのかたのお名前

Nº telefone Celular: _____

でんわばんごう けいたい Residência: _____

じたく 自宅 Empreiteira: _____

はけんがいしゃ たんとうしゃ
派遣会社の担当者 Nome do tantousha: _____

Marcar com um círculo nos dias que poderá participar さんかできる日に○をうってください。

Se não puder participar por causa da piscina, etc., favor avisar antes.

プールの日など、さんかできないときは、はやめにしらせてください。

7/22	7/23	7/24	7/25	
7/28	7/29	7/30	7/31	8/1



COMUNICADO SOBRE AULAS AS QUINTA-FEIRAS



もくようびきょうしつのおしらせ

Iremos realizar toda semana, as quinta-feiras após término das aulas.

Para fazer as lições de casa.

Vai ter professores(as) que irão ensinar o que não sabem.

As crianças que estão indo ao clubinho(jidou kurabu) também poderão participar!!

まいしゅうもくようび、がっこうのじゅぎょうがおわったあと、
しゅくだいをするもくようびきょうしつをやります。
わからないところはおしえてくれるせんせいがいます。
じどうくらぶにいているこもさんかできるよ！

Local: NISHINOMACHI SHOUGAKKOU ばしょ にしのまちしょうがっこう 場所：西野町小学校

Data: Do dia 18 de setembro ~ ao dia 26 de fevereiro Das 14:00hs. às 16:00hs.

にちじ

日時：9月18日～2月26日

午後 14:00 から 16 : 00 ころ

Maiores informações: Asada Hideko 090 -xxxx-xxxx (japones)

れんらくさき：あさだひでこ 090-xxxx-xxxx (にほん語)

Shiotani Akemi 090 -zzzz-zzzz (português)

しおたにあけみ 090-zzzz-zzzz (ポルトガル語)

Parte das atividades do ano de 2008 para criação de uma sociedade multi cultural na provincia de Aichi

H20 年度愛知県多文化共生社会づくり推進委託事業

Apoio: Seção internacional da Provincia de Aichi da ação para integração e criação de uma sociedade

主催：愛知県地域振興部国際課多文化共生推進室

Planejamento e organização: Associação para integração dos estrangeiros multiculturais de Nishio

企画・運営：外国人との共生を考える会

As crianças que desejarem participar das aulas de quinta - feira, preencher abaixo e entregar para a professora Komatsu Noriko da classe de língua japonesa(nihongo kyoushitsu).

もくようびきょうしつさんかきぼうの人は、^{ひと}下の表^{した ひょう}にかいてにほんごきょうしつのこまつのりこせんせいにていしゅつしてください。

Nome da criança que irá participar da aula: _____

もくようび^{きょうしつ}教室^{こども なまえ}にさんかされる子どもの名前

Quem tem irmãos(ãs), escrever o nome da criança que irá participar da aula.

きょうだいがいるばあいは、さんかされるこどもの名前をかいてください。

Nome da criança que vai participar: _

さんかするこどものお名前 série 年 classe 組

série 年 classe 組

série 年 classe 組

Favor orientar as crianças para irem embora diretamente para casa passando pelo caminho determinado pela escola(tsûgakurô).

^{い き}行きと^{かえり}帰りは^{つうがくろ}通学路^{とお}を通り、^{かえり}まっすぐ^{こども}帰るように子どもさんに^{しどう}指導してください。

Durante as atividades, pode ser que haja reportagem de televisão. Neste caso, o rosto da criança pode aparecer? PODE APARECER () NÃO PODE APARECER()

^{かつどうちゅう}活動中、^{てれびしゆざい}テレビ取材^{はいるばあい}が入る場合があります。その際、^{さい}顔^{かお}がうつってもよいですか。

うつってもよい () うつりたくない ()

Tomando cuidado com os pontos acima mencionados, desejo participar das aulas.

^{いじょう}以上の点^{てん}にきをつけて、^{かつどう}活動^{さんか}への^{きぼう}参加^{きぼう}を希望します。

Nome do responsável: _____

ほごしゃのかたのお名前

Nº telefone Celular: _____

でんわばんごう けいたい

Residência: _____

^{じたく}
自宅

Endereço: _____

じゅうしょ

PEDIDO おねがい

Pedimos as mães e os pais que expliquem as regras às crianças. Às vezes têm crianças que não fazem a lição e também têm crianças que brigam. As aulas de 5ªF são para fazer a lição de casa, por isso pedimos que expliquem isto às crianças. Na hora de ir embora, as crianças demoram para ir embora e têm crianças que param pelo caminho. É muito perigoso, pedimos que expliquem às crianças para irem embora assim que terminar a aula.

お か あ さ ん お と う さ ん お こ る ー る せ つ め い
お母さん、お父さんから、お子さんたちにルールを説明してください。ときどき、宿題をやら
なかつたり、けんかしている子どもたちがいます。木曜日教室は、まずは、宿題をやる教室な
ので、それをお子さんたちに説明してください。下校のときも、なかなか帰らない、よりみちをし
ている子どもたちがいます。たいへんきけんですので、教室が終わったらすぐ、帰るように説明し
てください。

Regras da classe

教室でのルール

- Se vier à sala, fazer as lições de casa.
- 教室にきたら、宿題をする。
- Na hora de sair da sala avisar a um adulto sem falta.
- 教室を出るときは、かならず、大人の人にいつてからいく。
- Quando for faltar, favor avisar.
- 休むときは必ず連絡をする。
- Não levar para casa os objetos que tem na sala.
- 教室の中にあるものをかってに持って帰らない。

Esclarecimentos sobre o Ingresso no Koukou (Ensino Médio) 進学説明会



Data: Ano 2009 mes 1 dia 25 à partir das 13:30 min às 16:30 min
日時 2009 年 1 月 25 日 13:30~16:30

Local: Tsurushiro Fureai Center
場所 鶴城ふれあいセンター

- Conteúdo:**
内容
- 1) Explicação do professor Ueda Nobuyoshi do Tsurushiro Chugakko, Sobre ingresso a Koukou
鶴城中学校植田進由先生による進学に関する説明
 - Onde ingressar após formar
 - Como escolher a escola (nota do Chugakko e nível da Koukou)
 - Tipo de ensino
 - A situação em relação ao estudo de um estudante
 - 2) Experiências relatadas de brasileiros sobre o ingresso no koukou de filhos na escola japonesa.
外国籍保護者による進学に関する体験談
 - 3) Relato de experiência de brasileiro que estuda na universidade, Igui Rodrigo.
現役ブラジル人大学生、伊木ロドリゴさんによる進学に関する体験談
 - 4) Reunião com perguntas e respostas com aperitivo
質疑応答&交流会
 - 5) Distribuiremos folhetos explicativos para ingresso ao ensino médio
進学に関するパンフレットの配布

Telefone de Asada Hideko 090-xxxx-xxxx (japonês)
contacto: Neusa lida 080-yyyy-yyyy (português)
連絡先

浅田秀子 日本語
飯田弘子 ポルトガル語

Parte das atividades do ano de 2008 para criação de uma sociedade multi cultural na provincia de Aichi
H20 年度愛知県多文化共生社会づくり推進委託事業

Apoio: Seção internacional da Provincia de Aichi da ação para integração e criação de uma sociedade

主催：愛知県地域振興部国際課多文化共生推進室

Planejamento e organização: Associação para integração dos estrangeiros multiculturais de Nishio

企画・運営：外国人との共生を考える会

がいくこくせき しんがくせつめいかい
外国籍のこどもたちのための進学説明会

Explicação sobre o ingresso para o colégio (koukou) para as crianças de cidadania estrangeira.

Data: 25 de Janeiro de 2009

Local: Tsurushiro Fureai Center, Nishio

Parte das atividades do ano de 2008 para criação de uma sociedade multi cultural na provincia de Aichi

H20 年度愛知県多文化共生社会づくり推進委託事業

Apoio: Seção internacional da Provincia de Aichi da ação para integração e criação de uma sociedade

主催：愛知県地域振興部国際課多文化共生推進室

後援：西尾市教育委員会: Secretaria de Educação de Nishio

Planejamento e organização: Associação para integração dos estrangeiros multiculturais de Nishio

企画・運営：外国人との共生を考える会

ポルトガル語版

1. Sobre o orientação do curso ao estudante de cidadania estrangeira 外国籍生徒の進路指導について

A orientação poderá variar de acordo com cada indivíduo, (visa valorizar característica e individualidade de cada aluno). Temos como caso recente um aluno de cidadania estrangeira

que matriculou em setembro na terceira série ginásial (chugakko 3 nen) praticamente não falava japonês, mas era muito bom em matemática. Então valorizamos este potencial e usamos este como argumento, e fez exame por recomendação (suisen juken) no colégio particular, e passou. Após o ingresso, não só se esforçou em matemática, mas está executando atividades aproveitando a linguagem nativa. Estes tipos de valorização de característica do aluno está sendo possível, graças ao força que a escola está proporcionando em manter os voluntários na escola, e promovendo vigorosamente atividades aos estudantes fora de classe.

2. Sobre o Exame

受験に際して

Ao fazer o exame pensamos que existem 2 padrões de exames. Será determinado a aprovação ou reprovação dependendo das notas da 3ª. Série do Chûgakkô e as notas conseguidos no exame. Um dos padrões é avaliação no boletim é alta, mas não conseguiu boas notas no exame, o outro padrão é a avaliação no boletim é baixa, mas conseguiu tirar boas notas no exame. Mas como não há uma avaliação que possa especificar em qual Koukou poderá ingressar, pois depende do esforço individual de cada aluno. Por isso pensamos que o melhor será consultar seu professor responsável.

3. Diferença entre colégio sec. público e colégio sec. Particular

公立高校と私立高校の違いについて

A diferença entre colégio secundário público e colégio secundário particular, primeiramente, observamos pelo valor. O colégio sec. público custa em média 15,000 円 mensais. Já o colégio sec. particular sem nenhum subsídio custa em torno de 50,000 円 mensais. Se pensarmos no total de 3 anos, se não conseguir nenhum subsídio, o colégio sec. particular custará 5 vezes mais que colégio sec. público. Mas, 90% dos ingressantes em colégio sec. particular tem conseguido subsídio, então tem custado na realidade 2 a 3 vezes a mais que colégio sec. público (O valor de subsídio varia de acordo com a renda familiar).

Também, a vantagem do colégio sec. particular comparado ao colégio sec. público, e que eles tentam valorizar e desenvolver a característica da pessoa. Já no colégio sec. Público, em vez de valorizar a característica de um estudante apenas, é visto normalmente como mais um no todo. Mas no colégio sec. Privado, procura desenvolver cada indivíduo. Vendo os casos até agora, quando o aluno ingressar neste colégio, e havendo algum tipo de problema, entram em contato com ginásio, e procura corresponder da melhor maneira (falando concretamente, os professores de escola ginásial tem contato com colégio secundário particular). Já em colégio sec. Público, após ingressar neste, pode se considerar a minoria, ter contato com ginásio para tratar de assunto de ex-estudante.

4. As características dos colégios que os alunos frequentam na cidade de Nishio

西尾市の生徒が通う各高校の特徴 *Dentro de () o nome usual do colégio ()の中は通称

1) Colégio secundário público (Kokuritsu Koukou) 公立高校

a)Nishio Koukou (Nishikou)	Aconselhável aos que pretendem estudar na faculdade particular, ou pública de nível elevado. Também indicado aos alunos quem conseguem avançar no estudo ao seu passo.
-------------------------------	--

b)Nishio Higashi	Aconselhável aos que conseguem seguir sobre a orientação do professor,
------------------	--

Koukou (Higashikou)	e quem conseguir levar a vida estudantil com seriedade. É um colégio rígido (no cotidiano), na pontualidade e cumprimentos.
c) Kakujiyogaoka Koukou (Kakujiyogaoka)	Para quem pretende trabalhar após o término do colégio. Terá 3 anos de aulas preparatórias para o trabalho. Quem na 1ª série, consegue discernir a sua vocação. Poderá adequar o estudo, pelo futuro curso. Ingressam 50% formandos (colégio profissionalizante), e 50% vão trabalhar. Temos conseguido fazer apresentação em alguns empregos.
d) Kira Koukou (Kira kou)	Tivemos alunos que entraram no colégio profissionalizante ao concluir este. Quase todos fazem o curso regular (futsuuka). É dividido em três cursos, curso de cotidiano – vestuário e ornamentos (seikatsu bunka ka – fukushoku), bem estar de criança (jidou fukushi), e arte culinária (shokumotsu tyouri), ideal para quem pretende trabalhar nestas áreas.
e) Ishiki Koukou (Ishikikou)	Acima de 95% dos alunos são moradores de Nishio e Hazu. Podendo assim levar a vida escolar tranquila. Dentre os alunos de curso regular (futsuuka), 30% a 40% vão trabalhar ao se formar. Por este motivo, temos curso de informática. Temos uma classe de curso de desenho do cotidiano onde pratica principalmente – vestuário e ornamentos. 75% seguem o trabalho.
f) Hekinan Kougyo Koukou (Kougyokou)	Formados por curso de máquina (kikaika), eletrônica (denshi kougaku ka), construção (kentiku ka) e engenharia ambiental (Kankyō kougaku ka). Para quem tem interesse em estudar máquina e eletricidade. Temos registros principalmente na área de eletricidade.
g) Hekinan Koukou (Hekikou)	O nível exigido é parecido com Nishio Higashi Koukou. Pela localização, os alunos de Heisaka, Terazu, Ishiki chu tem tendência em estudar em Hekinan Koukou. É uma escola de tradição, mas parece um pouco mais tranquila que Higashi Koukou. Temos em anexo o curso de comércio (shougyouka).
h) Anjo Minami Koukou (Minami Kou)	O nível exigido é parecido com Ishiki Koukou. Pela localização, os alunos de Tsurushiro Chugakkou, do bairro de Yonezu, tem tendência em ingressar em Anjo Minami Koukou. Na cidade de Anjo temos ainda colégio de mesmo nível, Anjo Higashi Koukou, Anjo Koukou, todos com curso regular (Futsuuka). Como muitos optam trabalhar após concluir o estudo, como na escola de Ishiki Koukou, também preparam curso de informática.

2) Shiritsu Koukou (colégio secundário particular) 私立高校

Quem tem interesse em participar na escola, quem tem vontade de esforçar em uma determinada área, se tiver um objetivo traçado, nós aconselhamos esta opção.

a) Anjo Gakuen Koukou (Angaku)	Forte em bukatsu, para quem interessar (principalmente, Instrumentação de sopro, basquete). Quem gosta de participar no serviço de voluntariado. Apóiam nas relações internacionais (tem aceitado estudantes estrangeiros, recém vindos de fora). Como tem a Faculdade Keiretsu Daigaku (Aichi Gakusen Daigaku), é interessante para quem pretende fazer a faculdade.
-----------------------------------	---

b) Okazaki Josei Koukou (Josei)	Forte em bukatsu (principalmente em futebol, corrida, soft tennis, hand bol, Badminton). Tem a Faculdade Keiretsu Daigaku (Aichi Gakusen Daigaku), é interessante para quem pretende fazer faculdade. Ultimamente é muito cotado, por ter apoio grande nos estudos e no bukatsu.
c) Aichi Sangyo Daigaku Mikawa Koukou (Aisandai Mikawa)	Forte nas aulas de bukatsu (principalmente em baisebol, arte marcial chinesa (Shôrinji Kempô), arco e flecha), fora aula regular (futsuuka), tem aula de processamento de informação e eletricidade.
d) Hikarigaoka Joshi Koukou (Hikarigaoka)	Colégio feminino. Há registro de entrada na escola superior. Forte em bukatsu (banda musical). É vantajoso para quem pretende estudar na Faculdade Cristã (Kirisuto Kyou Keiretu Daigaku), por ex. (Nansan Daigaku). Tem departamento de cultura internacional de inglês, proporcionando estudo fora do país frequentemente.
e) Seijo Koukou	Forte no bukatsu, para quem quer se esforçar (voleibol, kendô, baisebol, luta). Tem apoiado em intercâmbio de relações internacionais. Para quem tem interesse em continuar o estudo, tem a faculdade (Seijo Daigaku).
f) Ninguén Kankyô Daigaku Okazaki Gakuen Koukou (Okazaki Gakuen)	Colégio de pequeno porte, por isso há correspondência hospitaleira. Quem quer desenvolver a sua potencialidade. Tem poucos estudantes masculinos, é um ambiente tranquilo. Tem apoio para fortalecimento nos estudos.
g) Aichi Sangyou Daigaku Kougyou Koukou (Aisandai Kougyou)	Colégio masculino. Forte no bukatsu (baisebol, futebol, arco e flecha). Tem departamento de eletricidade, máquinas, podendo adquirir qualificação.

3) Vários tipos de escola, colégio profissionalizante 各種・専修学校

a) Nishio Koutou Kasei Senmon Gakkou (Shirayuri Gakuen)	Colégio feminino. Poderá adquirir certificado de estudo no colégio por correspondência. Como é dentro da cidade de Nishio é prático. Para quem interessar em estudar economia doméstica. Tem os que vão ingressar na escola técnica.
b) Anjo Seikatsu Fukushi Koutou Senshuu Gakkou (Sakura Gakuen)	Colégio feminino. Poderá adquirir certificado de estudo em escola secundária (Kousotsu), por correspondência. Para quem gosta do estudo do cotidiano e bem estar (seikatsu, fukushi). Reforçamos no estudo de bem estar, podendo adquirir qualificação.
c) Yamamoto Gakuen Jouhou Bunka Senmon Gakkou (Shiritsu Yamamoto)	Colégio masculino e feminino, em salas separadas. Poderá adquirir certificado de estudo do colégio (Kousotsu), por correspondência. Para quem tem interesse em continuar estudando na área de moda, chefe de cozinha, e quem quer estudar na área de negócios.

5. Sobre uma escola secundária de meio período 定時制高校について

O sistema de estudo do Teijisei Koukou tem aulas diurnas e noturnas. O sistema do Teijisei noturno poderá ser sacrificante por ter horários diferentes do cotidiano dos colegas da mesma idade, por trabalhar de dia e estudar a noite. E será necessário 4 anos para concluir o curso.

Existe 2 oportunidades de prestar o exame, o zenki e kouki. Quem não conseguir passar no exame Zenki, poderá prestar novamente o 2º exame, o kouki.

Nota-se que muitos alunos ingressam ao Teijisei Koukou por vários motivos. Ex. por não conseguir ingressar em escola secundária particular e especializada por motivos financeiros. Por não ter possibilidade de aprovação no exame da escola secundária pública. Para quem estuda no Teijisei noturno, tem bastante tempo de folga, então muitos fazem arubaito. Mas o Teijisei noturno é recomendado somente em último caso, pois para alunos que acabaram de sair do Chûgakkô é difícil conciliar as 2 atividades. (arubaito e estudo) e também dificulta o relacionamento com os amigos.

a) Hekinan Koukou (Noturno)	Desenvolve atividades, e estudos semelhantes a sistema da escola secundária regular da escola.
b) Ishiki (Noturno)	Quase todos estudantes trabalham.
c) Anjo (Noturno)	Desenvolve atividades, e estudos semelhantes a sistema da escola secundária regular da escola.
d) Higashi Kariya (Diurno)	Tem 2 classes. É altamente competitivo (há muitos candidatos).

6. Sobre exame através de recomendação (suisen)

推薦による受験について

Sobre o exame por recomendação (suisen), quais os alunos que preencherão os requisitos necessários, varia consideravelmente de escola para escola.

Presta-se o exame para a escola secundária particular e especialização como garantia (suberidome) para no caso de prestar exame para a escola sec. Pública e não ser aprovado. Se for aprovado no exame para a escola secundária particular e especialização, paga-se a taxa de 20 mil ienes para garantir a vaga.

A taxa de matrícula e outras despesas poderá ser pago após o resultado do exame feita na escola sec. Pública. Se for aprovado no exame da escola secundária pública, não é preciso fazer nada, mas a taxa de 20 mil ienes que foi paga para garantir a vaga não será devolvida. Mas não são todos que conseguem ser aprovado no exame para a escola sec. Pública por ser bem concorrido e exigente.

Os alunos que passam por recomendação ginásial presta o exame. Como é recomendação, precisa ter boa referência no comportamento (não chegar atrasado e não faltar, respeitar as regras da escola, ter boa aparência, entregar os trabalhos exigidos, participar do bukatsu, dos eventos da escola, etc.) Estas são algumas das exigências que precisam preencher para ser aprovado na recomendação (suisen) para prestar o exame. Mas nem todos que foi recomendado tem garantia de aprovação no exame. Aqueles que passarem pelo processo de recomendação, não há possibilidade de ingressar pelo processo normal (ippan nyuushi).

Aqueles que tem muita falta e não frequenta muito a escola no Chûgakkô poderá tentar a rede privada e colégio de especialização. Mas será apoiado somente aqueles que tem interesse em ingressar e estudar seriamente. E também se houver muita falta após o ingresso na escola será reprovado.

7. Tabela de possível combinação de grupos:

群、及びグループの組み合わせ (grupos e como poderá combinar)

	Grupo do programa A	Grupo do programa B
Mikawa Dai 1 gun (Futsuuka) Mikawa Grupo 1 (regular)	Okazaki Iwazu Koromodai <u>Ishiki</u> Toyota-kita <u>Asume</u> Toyota-minami <u>Mito</u> Toyohashi-higashi Taguchi	Kariya-kita Toyota-nishi Toyota Yutakano Matsudaira <u>Kamogaoka</u> <u>Kira</u> <u>Kota</u> Miyoshi <u>Fukue</u>
Senmon gakko Sogo gagkka Curso de Especialização	*Ishiki (seikatsu dezain) *Anjo (seikatsu bunka) *Anjo-nourin (nougyo , enguei seibutsu-kagaku, shokuhin kagaku, doubutsu kagaku, shinrin kankyo) *Hekinan kogyo (kikai, denshi kougaku, kentiku, kankyo kougaku) *Okazaki-shogyo (shogyo, kokusai bijinesu, Johou kaikei, johou shori) *Chiryu (shogyo, jouho shori) *Takahama (fukushi) *Miyoshi (supotsu	*Kira (seikatu bunka) *Hekinan (syogyo) *Okazaki kogyo (kagaku kogyo, teki sutairu dezain, kikai, doboku, denki, johou guijutsu *Miya suisan (kaiyo kagaku, suisan shokuhin, kaiyo shiguen, johou tsushin) *Mito (eigo) *Kariya kogyo (kikai, jidosha, denki) *Toyohashi-shogyo (shogyo, keiri, johou-shori, kokusai-bijinesu) *Horyo (seikatsu fukushi,
Mikawa Dai 2 gun (Futsuuka) Mikawa Grupo 2 (regular)	Okazaki-nishi Kariya <u>Asume</u> Anjo Nishio-higashi Chiryu Takahama <u>Ishiki</u> <u>Toyohashi-nishi</u> Kou <u>Mito</u>	Okazaki-kita Hekinan <u>Kamogaoka</u> Anjo-higashi Anjo-minami Nishio Chiryu-higashi <u>Kira</u> <u>Kota</u> Jishukan

Ex. :

Correto ○

- a) Ishiki e Kira
- b) Hekinan Kogyo (kikai) e Kira (seikatsu bunka)
- c) Nishio Higashi e Anjo Minami

Incorreto ×

- a) Ishiki e Hekinan Kogyo (kikai)
- b) Kakujou Gaoka (sogo) e Anjo Minami

8. Quanto ao ensino fundamental no Japão

日本の教育制度について

Partes das informações retiradas da página de Cidade de Toyota (『Sistema da rede educacional pública do Japão』)

(豊田市 HP 『SISTEMA DA REDE EDUCATIONAL PUBLICA DO JAPAN』より抜粋、一部修正)

Este material consiste em informar e orientar simplificadamente o sistema educacional japonês, na escolha de um futuro profissional ou escolar após a conclusão do ensino fundamental no Japão. Essa escolha se chama shinro (進路). Antes do aluno concluir a 3ª série da escola secundária (中学校), o conhecido como ginásio, ele terá que escolher entre trabalhar ou seguir seus estudos. No ginásio, o professor responsável é quem auxilia dando dicas de como adquirir um emprego ou escolher um colégio.

Consiste basicamente em Jardim de Infância - 幼稚園 (3 a 6 anos), ou Creche - 保育園 (0 a 6 anos). Em seguida ingressa na Escola Primária - 小学校 (duração de 6 anos - com idade de 6 a 12 anos). Ao concluir ingressará na Escola Secundária - 中学校 (duração de 3 anos - com idade de 12 a 15 anos). Estes são ensino obrigatório - 義務教育. Perante a lei, o ensino fundamental no Japão é obrigatório. Por isso a criança japonesa é obrigada a frequentar as escolas e seus pais têm o dever de enviá-la à escola. Já quanto a criança estrangeira, não existe uma lei que a obrigue a frequentar o ensino fundamental japonês. Entretanto, pela Declaração de Direitos da Criança, ela tem o direito de receber

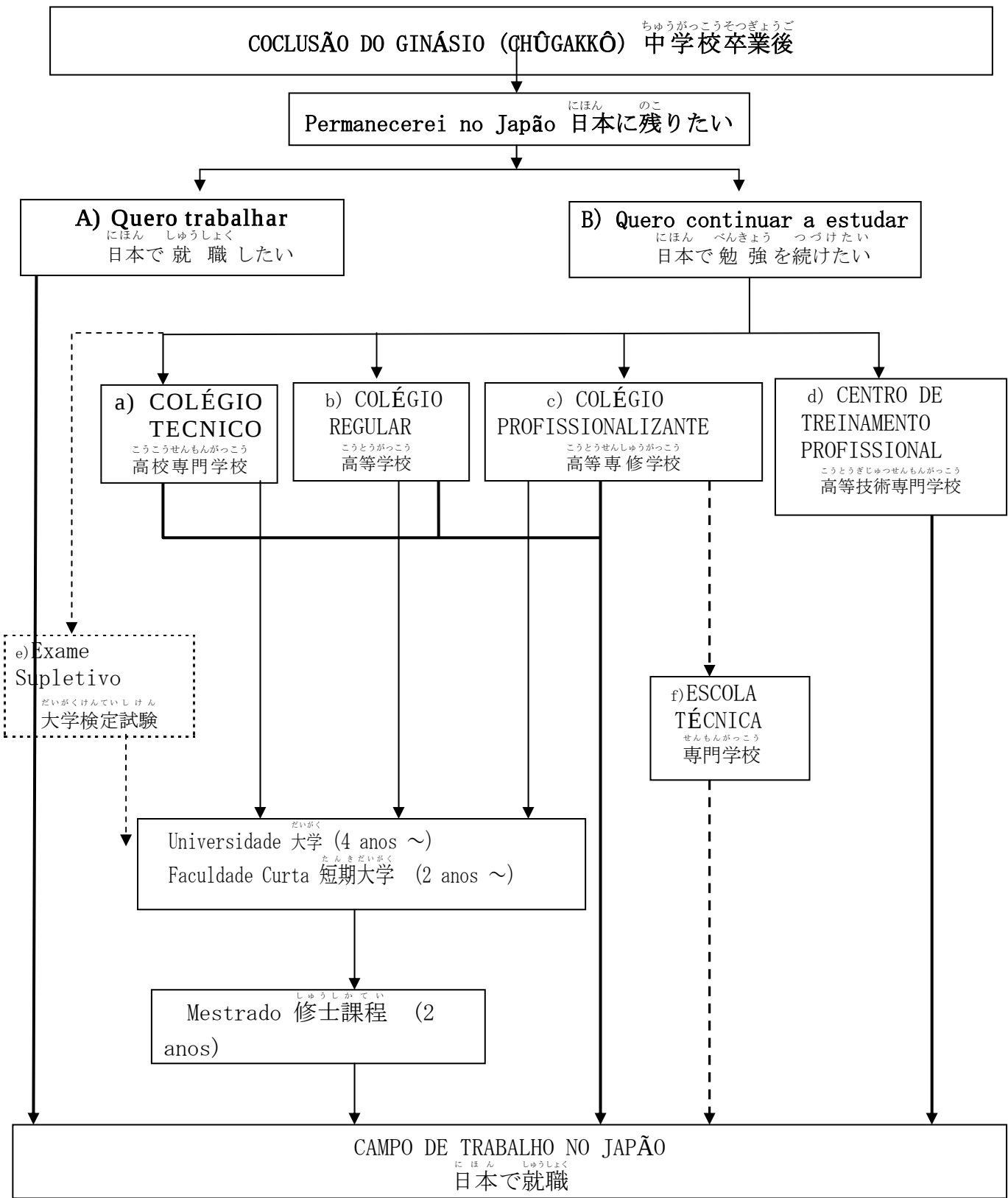
a mesma educação da criança japonesa. Para que um estrangeiro prossiga seus estudos no colégio japonês ou assegure um emprego no Japão, é aconselhável que ele não interrompa seus estudos e conclua, no mínimo, o ensino fundamental (shougakko e chûgakkô).

Referentes a faltas na escola (assiduidade escolar), no Japão é comum avisar (telefonar ou através de bilhete) os professores quando os filhos vão faltar à escola. O relacionamento entre a escola e os pais é levado a sério. Caso o aluno falte por algum motivo, os professores ficarão preocupados. As faltas e atrasos sem motivos prejudicam a imagem do próprio aluno. São desvantagens na hora de ingressar em algum colégio, assim como, na procura de um emprego.

9. Quanto a escolha de um Rumo Profissional ou Escolar no Japão
日本の進路の選び方

Partes das informações retiradas da página de Cidade de Toyota (『Sistema da rede educacional pública do Japão』)

(豊田市 HP 『SISTEMA DA REDE EDUCATIONAL PUBLICA DO JAPAN』 より抜粋)



10. Sobre requisitos do vestibulando, sistema seletivo e reserva.

Partes das informações retiradas da página de Cidade de Toyota (『Sistema da rede educacional pública do Japão』)

(豊田市 HP 『SISTEMA DA REDE EDUCATIONAL PUBLICA DO JAPAN』より抜粋)

1) **Requisitos para o vestibular:** Ter mais de 15 anos, ter concluído o ginásio (Chûgakkou) japonês ou concluído os 9 anos de ensino fundamental no exterior, ou ainda, comprovar no colégio onde pretende ingressar, que tem o nível de conhecimento equivalente aos demais candidatos.

2) **O sistema seletivo Complexo (Fukugo Senbatsu Seido):** Os colégios públicos estão divididos em grupos e por região. Há possibilidade de prestar o vestibular em dois colégios públicos de diferentes grupos. O aluno poderá ser aprovado em apenas um colégio ou reprovado nos dois. Maiores detalhes com o professor responsável.

3) **Pedido de reserva (Heigan):** Como o vestibular das escolas particulares ocorre antes das escolas públicas, existe um sistema de reserva de matrícula nos colégios particulares até obter o resultado do colégio público. Para isso, é necessário que o aluno pague uma taxa de 20.000 ienes. Caso o aluno seja admitido e opte pelo colégio público, o valor não será devolvido. Quanto a reserva, o aluno poderá optar o colégio particular que deseja assegurar a vaga.

11. Valores das despesas nos Colégios

費用の目安

Partes das informações retiradas da página de Cidade de Toyota (『Sistema da rede educacional pública do Japão』)

(豊田市 HP 『SISTEMA DA REDE EDUCATIONAL PUBLICA DO JAPAN』より抜粋、一部修正)

O quadro abaixo mostra os valores aproximados das despesas escolares.

Despesas	Colégio Público 公立高校		Colégio Particular Integral (¥) 私立高校全日 制	Colégio Profissionalizante (¥) 高等専修学校
	Integral (¥) 全日制	Meio Período 定時制		
Taxa de vestibular	2.200	950	12.000	12.000
Reserva de matrícula	—	—	20.000	20.000
Matrícula	5.500	2.000	200.000	100.000 a 200.000
Mensalidade	5.650	2.100	25.000 a 40.000	20.000 a 30.000
Grêmio estudantil,	6.000	10.000	4.000 (excursão a	2.500 (excursão a parte)

excursão, etc. 学年費・積立金			parte)	
Alimentação (mensal)	–	5.300	–	–

※ Os estudos quanto o material escolar, uniformes, transportes e material didático não estão incluídos nos valores mencionados acima.

12. Bolsas de Estudos (Shougakukin) : COLÉGIOS PARTICULARES EM TEMPO INTEGRAL 私立高校の奨学金

Partes das informações retiradas da página de Cidade de Toyota (『Sistema da rede educacional pública do Japão』)

(豊田市 HP 『SISTEMA DA REDE EDUCATIONAL PUBLICA DO JAPAN』より抜粋、修正)

Existem sistemas de custo (doação) e financiamento de estudos (devolução a curto ou longo prazo), destinadas a alunos e famílias em dificuldades financeiras, com intuito de aliviar as despesas relativas ao estudo. O acesso às bolsas e valores dependerão da renda familiar.

1) Ajuda de custo da taxa de matrícula (NYŪGAKU NÔFUKIN NO HOJO) : não é necessário devolver.

- **Pre-requisitos:** valor dependerá da renda familiar e o imposto recolhido
- **Valor:** Dependendo da renda familiar.
- **Solicitação:** na escola onde irá ingressar, durante o mês de julho que antecede o ingresso.

2) Empréstimo da taxa de matrícula (NYŪGAKU NÔFUKIN NO KASHITSUKE): este empréstimo é isento de juros.

- **Pré – requisitos:** a renda familiar abaixo da faixa determinada
- **Valor :** quantia máxima de ¥ 100 mil ienes / ano. (¥ 100.000 / 年)
- **Devolução:** o dobro do tempo da duração do curso para a devolução.
- **Solicitação:** deve ser solicitado à escola na ocasião da matrícula. (入学時に申請)
- **Ajuda de custo da mensalidade (JYUGYÔRYOU NO HOJO):** não é necessário devolver.
- **Pré-requisitos:** a renda familiar e o imposto recolhido definirão o valor da ajuda a receber.
- **Valor:** ¥ 146 mil e 400 ienes a 382 mil 800 ienes / ano
- **Solicitação:** deve ser feita na própria escola no mês de julho após o ingresso.

Ex. Ingresso no ano 2009/4 fazer solicitação em 2009/7

13. Outros sobre bolsas de estudos(Shogakukin Seido) その他の奨学金制度

1) A Associação de Educação Japonesa (Nihon Ikueikai) empresta dinheiro a muitos estudantes. A devolução pode ser feita em parcelas depois da formatura. As inscrições (forma de reserva) podem ser feitas no ginásio (tyûgakkô).

2) A Fundação de Assistência Estudantil Saint Joseph (Saint Joseph Shoogakukin Ikuei Kikin)

é uma das novas entidades que está oferecendo bolsas a estrangeiros que vivem no Japão, beneficiando 50 pessoas em todo o país. As inscrições devem ser feitas depois de ingressar no colégio, com a carta de recomendação do diretor da escola. Peça informações aos professores no colégio. O valor da bolsa não será necessário ser devolvido. ※ Tel. : 03-3286-8527

3) O sistema de empréstimo para pagamento da taxa da matrícula.

Este sistema é a promoção de escola particular solicitando uma ajuda de custo fornecido pelo

governo de Aichi. A ajuda se baseará nos valores do imposto de renda tributável total de 5 milhões e 20 mil ienes por família (baseada na soma da renda familiar do pai e mãe), podendo emprestar até 100 mil ienes / ano. Sendo que no caso de ser sistema escolar diurno após receber o empréstimo, deverá iniciar a devolução no próximo fim de março de ano que vem, dentro de seis anos depois de ingressar na escola.

4) O sistema de desconto da bolsa de estudo da escola secundária privada. 私立高校独自制度の奨学制度

- Honra ao estudante 特待生,
- Mais de um irmão ingressando na mesma escola 兄弟姉妹

5) Bolsa de estudo oferecida pela cidade onde que mora. 住んでいる市からもらえる授業料補助

Ex. Da cidade de Nishio ¥ 12.000 / ano

Estar com endereço desde 01 de outubro na cidade de Nishio

6) Empréstimo a educação pela Corporação de Finanças a Vida das pessoas

国民生活金融公庫の教育ローン(この融資金は、入学納付金、受験料、学納金、制服代など広く定められています。)

2 milhões de ienes (Nihyakuman), juros de 2.25% / ano (por pessoa, taxa de juros de 2008.5.12).

Este empréstimo está amplamente definido para uso do dinheiro para pagamento de admissão na escola, taxa de exame, pagamento de mensalidade, custo uniforme, etc., podendo usar somente para despesas escolares, podendo fazer a devolução em parcelas dentro de 10 anos.

*Sobre os dados referentes a empréstimos citados acima, deve consultar o professor responsável.

この資料は西尾市立鶴城中学校の進路担当者からの聞き取り、豊田市教育委員会が作成した

「SISTEMA DA REDE EDUCACIONAL PUBLICO DO JAPAN」を抜粋、修正したものです。資料使用を許可していただいたことに感謝します。

Este material foi feito através de explicação do professor responsável pelo ingresso para o colégio (koukou) do Nishio Shiritsu Tsurushiro Chûgakkô, e parte das informações retiradas e modificadas da Secretaria de Educação de Toyota (Sistema de Rede Educacional Público do Japão). Agradecemos pela permissão de uso do material.

Local de dados de referência

参考資料、サイト：西尾市中学校進路指導部会・幡豆群中学校進路指導部会 平成 20 年度進路の手引き

愛知県県民生活部学事振興課私学振興室 <http://www.pref.aichi.jp/gakuji/>

探そマイ！スクール！<http://www.manabi.pref.aichi.jp/myschool/43nyugaku.asp>

愛知県教育委員会 <http://www.pref.aichi.jp/kyouiku/kotogakko/teitsu.html>

愛知県豊田市教育委員会学校教育課

http://www.city.toyota.aichi.jp/division_n/da00/da02/tanto/kyouikukokusaika/index.html

愛知県豊橋市教育委員会 <http://www.gaikoku.toyohashi.ed.jp/>

愛知県私学協会 <http://www.aichi-shigaku.gr.jp/>